

街

か

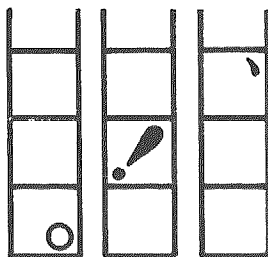
ど

「街かど」は皆さんのページです。皆さんの投稿は必ず掲載します。スペースの都合で一部省略する場合があります。募集するものは町に対する意見、要望や、短歌、俳句、川柳、詩、絵画、イラスト、写真などの作品、その他です。文字を書くのはどうも苦手、というかたは電話してください。取材に伺います。氏名などを公表したくないかたは匿名にしますが、編集部へは氏名、住所を知らせてください。投稿、連絡先、黒崎町大野二八四三—一 黒崎町役場企画課 広報くろさき 街かど 係 ☎七—三二〇—



今月の投稿

最近、投稿が増えてきました。それだけ広報が読まれている証拠と思われ、うれしく思っています。特に文芸作品でなくていいのです。情報でもいいのです。仲間を募集したいとか、催物を企画しているとか、そのようなものも取扱っています。また、写真やイラストも募集します。



投稿 漢 詩

題奏始皇帝

祖龍崇陵方數程  
昔聽連峯長城宮  
今春兵馬仙群像  
皇帝莊園使衆隆

機上有感

後西安為機乘人  
看眼下終南峻山  
祝民國機憶奏帝  
碧空晴善吾旅先

投稿 町をめぐって

今年、わたしは八十歳になった。黒崎町をはじめ近郷の町村を自転車に乗って巡ってみたいと思ひ、桜の満開の季節を期してと心に決めていたのだが、豪雪と厳寒で五月になつてから実行となつた。その朝興野金巻の堤防沿いに行くことにした。というの

は堤防から中の口川へ転落死という事故があつたと聞いたので、果たしてそんなに危険なところかと思つたからだ。堤防の両側にはガードレールがあり、大型トラックやダンプならいざしらず、普通乗用車では転落する心配はないように見えた。

板井の方まで行くとガードレールがない所もあつた。そこは板井のお寺があるところだが、見通しはよかつた。落ちるには、わざわざ選んで落ちねばならぬくらいだ。当局の予算があれば、付けてもよいだろうが。

かい、板井3の部落に下りて今度は部落の道を走り帰宅した。昼からは風もおだやかなので、役場の分室前を通り北場へ向かつた。北場の入口は大形車、普通車など交通が激しく眼が離せない。国道8号線、高速道路に次

中学通り 酒井 庄平



短歌

香の立ちてかすみのせき花開く桃の林に陽の照り満ちぬ 宮田 ミイ  
野菜畑荒れせしもぐらを捕獲器に捕えたる日は一日うれし 平松清治郎  
久々に孫等来りて成長のたしかき見せる仕業の度に 金内 セツ  
見渡せる水田一面輝きて愈々田植始らんとす 酒井 庄平  
少年時丁稚に出されし吉川(英治)大人の母の語朝の来ない夜はない 柏 直樹地  
真暗き鐘乳洞の天張りに光る土堂を舟で仰ぎぬ (三ノ江)ランドを旅して 泉井 ヨ子  
梅桜桃も同時に咲くという岩手のおそき春を訪なう 小出美喜子  
運動会のために終らず待ちしかと思えるばかりに桜舞い散る 阿部 淨子  
(短歌会)

浅き春他をぬきて咲く花みづき五月を聞きてなほ白き花  
たむろ 屯す  
俳句 屯す  
宇女

訂正  
広報五月号の短歌で  
柏直樹地さんの作品中  
「替」を「贊」に訂正しお  
わびします。

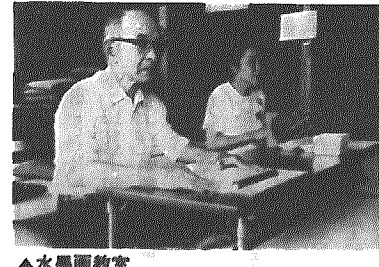
連載 My way



竹内竹市  
六十九歳。大野二町。  
長い絵画経験をいかし  
今年から水墨画教室、  
寿学級の講師。

水墨画を年間に六百枚

絵を始めて十五年。町の  
絵画クラブ創始者の一人で  
もある。昨年六月から水墨  
画を始め、今までかいた枚  
数が六百枚。



▲水墨画教室

「水彩画を主にやってま  
したので、油絵から入るよ  
りは楽でした。わたしも始  
めて間もなく、去年は基  
本の講座を受けていました。  
今は上級の方を受けてます」  
今年から水墨画教室の講

師、寿学級でも水墨画を教  
えている。

「わたしが去年習ったこ  
とを今年はおかの人に教え  
ているということなんです」  
水墨画教室の受講生は現  
在五名。秋の文化祭出品を  
目指して筆を執っている。  
「色紙をかくのが当面の  
目標です。模写よりも筆使  
いなど基本から始めればだ  
れにでもできます」

互いが互いのために

会員を募集

黒崎助け合い看護の会

このほど黒崎助け合い看護の会が発足しました。これは、助け合い精神を基本として、自分が健康のときは病気の会員を、自分が病気のときは健康な会員から看護してもらうという会です。



会長 泉井 暮らし

「以前、主人が病気のときわたしは自立して家にいま子供たちは自立して家にいませんでしたから、ほんとうに

たいへんでした」  
「看護人も付けたことがあ  
るのですが、費用がばかにな  
りませんし、何よりも気持ち  
が大切ではないかと思つたの  
です」  
会の内容は――  
○看護の範囲は本人と家族  
○看護の方法を学習する  
○一時間一点として点数計  
算する  
○食費は一回五百円、交通  
費は実費  
――などとなっています。  
詳しくは泉井さんへ。

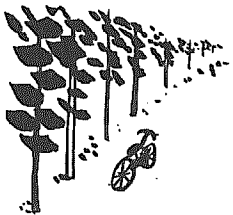
寄稿 寿学級俳句教室

伸びし芽に霧吹きかけるほど  
の雨 早川 ウメ  
小径行く雑木紅葉や薬師堂  
驚尾 サヨ  
秋祭りひ孫上手に太鼓うつ  
中村庄次郎

霞み立つ森遠くして日の出か  
な 内藤 春男  
紺青の海に白帆や秋日和  
滝沢 チイ  
球を打つ音軽やかに五月晴  
金内 セツ

雑壇の鏡にうつる吹雪かな  
本間 チイ  
亡き姉と語りし星をさがし見  
る 白川 代香  
陽炎や吾が家への路畑続き  
酒井 庄平

暖かや話しひろがる草の上  
斎藤 美芳  
垣根越し小枝のぼして柿若葉  
高橋 睦治



水墨画教室の講師として活躍中

「わたしが去年習ったこ  
とを今年はおかの人に教え  
ているということなんです」  
水墨画教室の受講生は現  
在五名。秋の文化祭出品を  
目指して筆を執っている。  
「色紙をかくのが当面の  
目標です。模写よりも筆使  
いなど基本から始めればだ  
れにでもできます」

受講生を募集中で、希望  
者は教育委員会へ。なお、  
竹市さんの号は蘆江という。